



これまでストリーミングでビデオ配信を行うためのサービスは多数あったが、この「earthnoise.com」はJumpでは専用ソフト（無料）を使うことで手軽にビデオを配信できてしまうというのが特徴だ。このサービスではRealVideo形式での配信が前提となるので、視聴には最新版のリアルプレイヤーをインストールしておこう。

Jump [www.earthnoise.com](http://www.earthnoise.com)

リアルプレイヤー 8

CD-ROM収録先：Win Real8【Win】、Mac RealPlayer【Mac】

林 岳里 はやし・たけさと

近著として共著の『WEB DESIGN MANUAL side/B TOOL 編』（翔泳社より発売中）がある。Flashとストリーミング（RealSystem）をメインにライター、セミナー講師をこなすテクノロジスト。

Jump [www.takesato.com](http://www.takesato.com)

ビデオメールからパーソナルキャスティングまで

# タダで作れる！ インターネット放送局

高価な専用機器が無くても、ビデオ編集機能を搭載したPCを使って

撮ったビデオをデジタルで編集できる時代がやってきた。

今回は個人向けのストリーミングサービスを提供している

“earthnoise.com”を使ってビデオをインターネットで発信する方法を紹介する。

無料でビデオを公開できるうえに、難しいサーバーの知識もいらない。

さあ、個人で放送局を作れる“パーソナルキャスティング”の世界に踏み出してみよう！

## インターネットでビデオを公開しよう

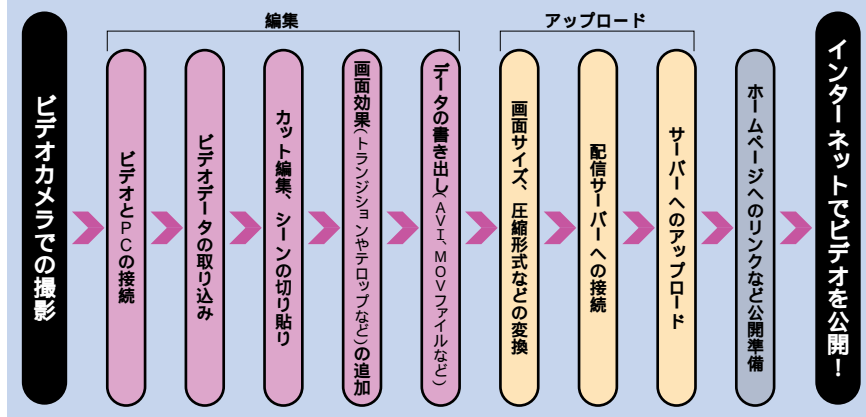
一般家庭にもインターネットに高速で接続できる環境が広がっている。MP3などの音楽やソフトウェアのダウンロード販売など、今までパッケージで販売されていたものが次々とインターネットを介して届けられるようになってきた。とはいえ動画のダウンロードや配信も問題ないかといえば答えはNOだ。DV（デジタルビデオ）からパソコンに取り込んで書き出した無圧縮のAVIファイルのデータ量は約9分30秒で2Gバイトになってしまう。高速回線を使ってもそのままの状態ではインターネット配信には向かないのが現状だ。

それらの問題を解決する方法の1つに「ストリーミング」がある。ストリーミングという言葉は初めて聞く人もいかもしれないが、リアルプレイヤーやウィンドウズメディアプレイヤー、QuickTimeなどで採用されており、イ

ンターネットではライブ中継やラジオ、オンデマンドビデオコンテンツなどの配信に欠かせない技術である。ストリーミング用のビデオファ

イルは圧縮率が高く（56kbps モデムで見るとを想定したRealVideo ファイルを制作しても1分で約0.25Mバイト）、ネットワークで

撮影から公開までの大まかな流れ



配信するのに最適化されている。ストリーミング配信には専用のサーバーが必要だが、データがすべてダウンロードされるのを待つ必要はなく、テレビのようにすぐに映像が再生されるので、待ちくたびれるようなこともない。制作もビデオファイルをストリーミング用に変換するソフト(エンコーダー)が無料で公開されている。パソコンで編集したビデオをテープやビデオCDにするのもいいが、せっかくな

らインターネットでみんなに公開してみてもどうだろうか。

今回紹介する「earthnoise.com」はストリーミング配信を行うための専用サーバーと50Mバイトのビデオ領域を無料で提供してくれる便利なサービスだ。もちろんメンバー登録も無料だ。英語なので最初はちょっととまどうかもしれないが、手軽にビデオを公開できるので、ぜひ活用してみよう。

earthnoise.comでのストリーミング配信を利用すれば

タダで50Mバイトものディスクスペースがもらえる!

自分でサーバーを立てなくてよい!  
誰でも持っているリアルプレイヤーで見られる!

用途はいろいろ!

添付ファイルのないビデオメールを送る!

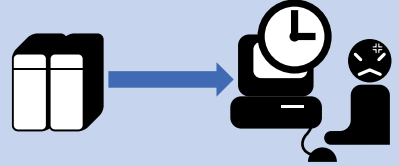
ホームページからリンクしてコンテンツに組み込む!

自作の映画を公開する!

ダウンロードとストリーミングの違い

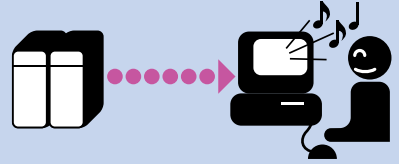
**ダウンロード**

すべてのデータがダウンロードされてから再生が始まる



**ストリーミング**

ダウンロードした部分から順に再生する



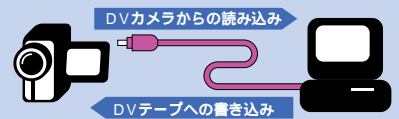
# まずは機材をチェックしよう

今からインターネットでビデオを公開しようとするならば、PCに接続してデジタルのまま編集できるデジタルビデオ(DV)が最適だ。価格も20万円前後で手に入る。この場合に必要の機材はDV端子の付いているPC、DVカメラ、DVケーブル、そしてビデオ編集ソフトだ。

DV非対応のPCでも、キャプチャーカードを追加すればビデオを取り込める。環境に応じて必要な機材は異なるので自分の環境をチェックしておこう。取り込んだビデオファイルは数ギガバイトにもなるので、ハードディスクに十分な空きを確保するのも忘れずに。

**DVとパソコンの接続**

DVカメラ+パソコンをDVケーブルで接続するだけ!!



**ビデオ編集に対応したパソコン**

最近ではDVキャプチャー機能を標準で搭載したPCが各社から発売されている。i.LINKやIEEE 1394、FireWireと記載されているDV端子が搭載されていればそのままDVカメラからビデオを取り込める。



iMac DV Special Edition  
発売元: アップルコンピュータ(株)  
標準価格: 17万8,000円  
Jump [www.apple.co.jp/imac/](http://www.apple.co.jp/imac/)

VAIO PC-J12V5

発売元: ソニーマーケティング(株)  
価格: オープンプライス  
Jump [www.vaio.sony.co.jp](http://www.vaio.sony.co.jp)



**デジタルビデオ(DV)カメラ**

DV端子を搭載したカメラさえあれば撮影後にそのままパソコンへデジタルで転送できる。新しく購入するならば事前に自分が使うビデオ編集ソフトの対応機種を確認しておくことよ。

なお、ウィンドウズ98SEより前のOSである95/98ではDV端子のインターフェイスであるIEEE1394規格を標準サポートしていないので、その場合はOSもアップグレードしておこう。



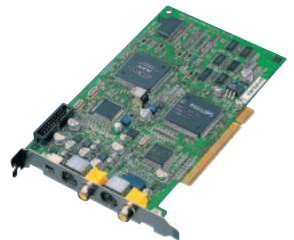
DCR-PC110  
発売元: ソニー(株)  
標準価格: 23万5,000円  
Jump [www.sony.co.jp](http://www.sony.co.jp)



IXY DV DM-PV2  
発売元: キヤノン(株)  
標準価格: 21万円  
Jump [www.canon.co.jp/DV/](http://www.canon.co.jp/DV/)

**DVキャプチャーカード**

DV端子がないPCでも、PCIバスに挿すタイプのDVキャプチャーカードを追加すればDVの取り込みができる。1万円程度から入手できるが、購入時はビデオ編集ソフトやケーブルなど本体に付属するオプション類の有無もしっかりチェックしよう。



DVRaptor New Edition  
発売元: カノープス(株)  
標準価格: 6万9,800円  
Jump [www.canopus.co.jp/catalog/dvraptor/](http://www.canopus.co.jp/catalog/dvraptor/)

**ビデオ編集ソフト**

専用の機器がなくても、PC上でテロップや切り替えなどの機能を使った編集作業ができる。高性能なプロ向けのソフトから安価で初心者でも扱いやすいソフトまで種類はさまざまだ。iMacDV標準添付の「iMovie 2」はアップルストアでダウンロード販売されている。



MegaVi DV  
発売元: (株)ジャストシステム  
標準価格: 9,800円  
Jump [www.justsystem.co.jp/software/dt/megavi/](http://www.justsystem.co.jp/software/dt/megavi/)



Adobe Premiere 5.1  
発売元: アドビシステムズ(株)  
価格: オープンプライス  
Jump [www.adobe.co.jp/products/premiere/](http://www.adobe.co.jp/products/premiere/)

1万円を切る価格を実現しながら、シーンをつなぐトランジション、フェードインやワイプなどの効果も確認しながら追加できる。DVテープやムービーファイルへの書き出し以外にもビデオCDの制作までこれ1本でOK。

プロダクションなどでも使われるプロ向けの編集ソフト。多くのエフェクトに加えてプラグイン形式で機能を追加できる拡張性の高さが特徴。ビデオ、オーディオトラックが99個まで扱え、複雑なクリップでも管理しやすい。

**DV環境以外の場合はアナログキャプチャーカードで**

DVのない環境、たとえばHi-8やVHSのビデオカメラ、ビデオデッキから映像を取り込むにはMPEGキャプチャーカードやアナログ系の端子に接続するキャプチャーカードを使おう。製品によってはコンポジット端子などを通してサウンドを別に取り込む必要があるものの、DVがなくてもビデオの取り込みができる。

# ビデオの取り込みと編集、書き出し

ここで挙げた「iMovie 2」以外の編集ソフトでも、取り込んだクリップをつなぎ合わせてエフェクトを加えて保存し、書き出すという基本的な作業はほとんど同じだ。

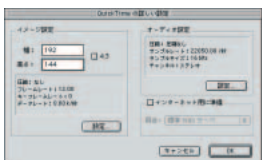
## 使用機材

- DVカメラ  
ソニー DCR-TRV900
- マシン  
Power Mac G4
- 編集ソフト  
iMovie2

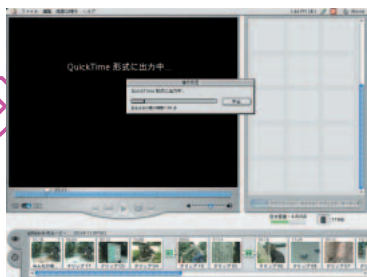
1 カメラのDV端子とPower Mac G4のFireWire端子をDVケーブルで接続する。iMovie2を起動して取り込みを開始するとシーンごとに分割されたサムネール表示で右上のリストに追加される。



2 編集は画面下にあるタイムラインにリストから必要なシーンを選んで並べていく形で進める。テキストを使ったタイトルや各種エフェクトなどもタイムラインに追加できる。すべての編集作業が終わったら、ムービー書き出しの準備を始める。



3 「ファイル」メニュー「ムービーの書き出し」を選び、書き出し先を「QuickTime」に、形式は「詳しい設定」をクリックして「QuickTimeの詳しい設定」を開く。イメージ設定では192 x 144（特別なイメージサイズ設定で、この後ストーリーミングで使うサイズ形式）圧縮も「設定」で「なし」を選択する。オーディオ設定も同様に「なし」を選択したら「OK」をクリックする。



4 設定が終わったら名前を付けてQuickTimeムービーとして書き出す。DVテープにも書き戻してバックアップしておくべターだ。



5 iMovie2から書き出されたQuickTimeムービーファイルをダブルクリックして、完成したムービーをQuickTime Playerで再生して確認しよう。

# earthnoiseへの登録とログイン



1 サービスを使うためには会員として登録が必要がある。earthnoise.comのウェブサイト( [www.earthnoise.com](http://www.earthnoise.com) )を開き、画面左側の「join」をクリックする。



2 メンバー登録画面が開き、無料会員と有料会員の登録ができる。今回は無料会員の登録なので、画面左側にある「join free membership」をクリックする。



3 無料会員には「Earthcast」(専用のアップロードソフト)、「50Mバイトのディスクスペース」、「パーソナルスタジオ」(ブラウザでのファイル管理機能)、「プライベート&パブリックチャンネル」(公開情報の管理)のサービスが提供される。



4 会員情報を登録する。メンバー名、メールアドレス、パスワードなど\*印の箇所は必ず記入する必要がある。記入したら画面下にある「Register」をクリックする。



5 会員登録が受理される前に最終確認のウィンドウが開く。内容を確認して問題なければ「YES: I Accept the Terms」をクリックして登録を完了しよう。



6 登録が終わると自分専用の管理ページ「My earthnoise」が開き、サービスが始まる。次回からはトップページにあるフォームにメンバー名とパスワードを入力してログインしよう。

# 専用ソフト「Earthcast」でのアップロード



1 earthnoise.com のウェブサイトへアクセスし、「Earthcast」ダウンロードページへ。ウィンドウズ版とマッキントッシュ版のいずれかを選択してダウンロードする。

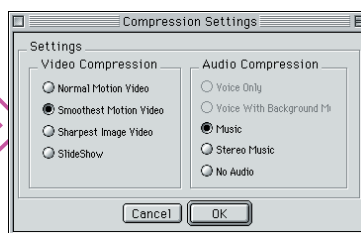
Jump [www.earthnoise.com/download/](http://www.earthnoise.com/download/)



2 ダウンロードしたファイルを実行すると「Earthcast」を含むこのようなフォルダが生成されてインストールが完了する。



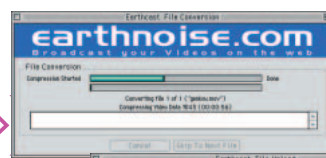
3 起動するとメインウィンドウが開く。左側の「Login:」枠内には登録したメンバー名とパスワードを記入し、中央の枠の中にはアップロードするビデオファイルをドラッグアンドドロップして登録する。次はアップロード前に「Settings」をクリックして設定を行う。



4 「Compression Settings」ではビデオの圧縮設定を行う。左側の「Video Compression」と右側の「Audio Compression」は変換するビデオによって調整する(今回は画質を優先したので「Smoothest Motion Video」を選択)。設定後はインターネットに接続して「OK」をクリック。

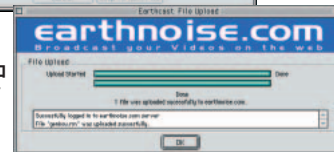
## Earthcast の機能

- 対応 OS : ウィンドウズ95/98/Me/2000、ウィンドウズNT4.0、マッキントッシュ
- AVI、QuickTime、MPEG1などのビデオをストリーミング形式 (Real Video またはASF) にエンコード
- 画面の自動リサイズ (192 x 144)
- クリップのトリミングと再生順の編集 (ウィンドウズ版のみ)
- アナログキャプチャーカードからの直接取り込み (ウィンドウズ版のみ)

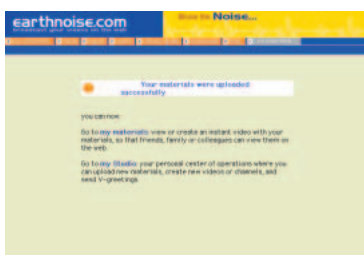


エンコーディング中

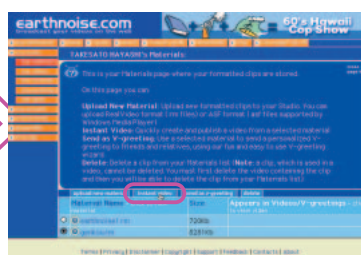
アップロード完了



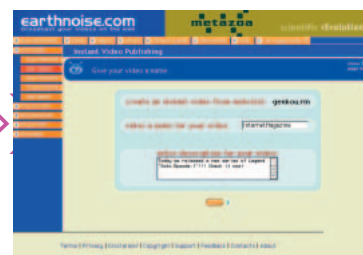
5 設定を終えて③のメイン画面に戻ったら、「OK」をクリックする。これでファイルのエンコーディング(変換)とアップロードが始まる。



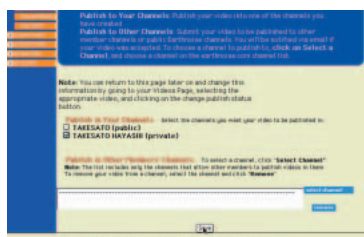
6 アップロードが完了したら「Your materials were uploaded successfully」と自動的に完了を通知するウェブページが開く。「OK」をクリックしてEarthcastを終了する。



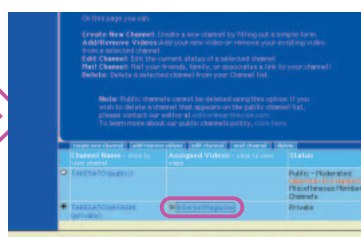
7 ウェブページの「my materials」でアップロードされたビデオファイルを確認する。QuickTimeビデオがEarthcastによって拡張子が.rmのRealVideoに変換されている。アップロードしたファイルをリストから探し、左横のチェックを入れてから「instant video」をクリックする。



8 「enter a name for your video:」の欄に公開するビデオのタイトルを、「enter description for your video:」に内容説明を記入する(英語のみ)。



9 ビデオを誰でも公開する場合は「public」を、「URLを知らせた人が閲覧できるようにするには「private」を選択して「Save」をクリックする。このあと設定が登録されたことを知らせる画面が表示される。確認したら、画面左上のメニューから「my channels」をクリックしてビデオが登録されたかどうかを確認しよう。

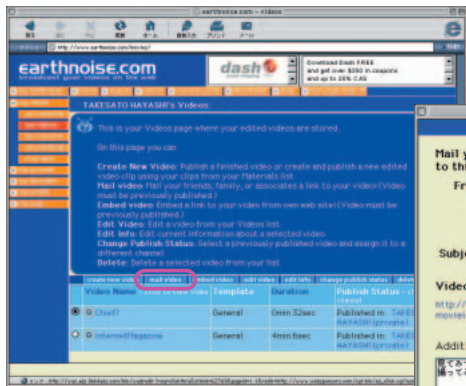


10 アップロードしたビデオが登録されているならば、さらに確認のためにビデオをクリックする。リアルプレイヤーが起動し、⑧で登録したタイトルが表示されたあと、ビデオがストリーミング配信されてくればアップロードは成功だ。

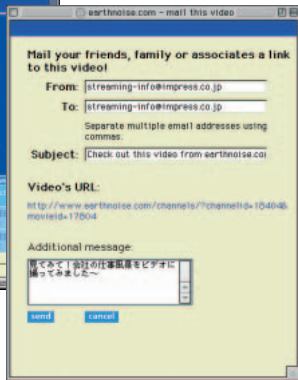


再生してチェック!

# ビデオメールを送ってみよう!



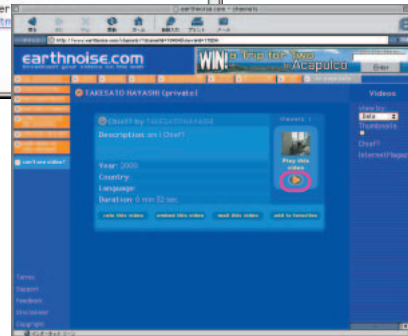
1 「my studio」「my videos」へアクセスし、メッセージとして送りたいビデオの左横にチェックを入れてから「mail video」をクリック。



2 「From:」に自分のメールアドレスを、「To:」にあて先のアドレスを、「Subject:」にメールのタイトルを入力(注意:日本語だと文字化けする)。そして「Additional message:」にコメント(こちらは日本語でもOK)を追加したら「Send」を押すと送信完了だ。

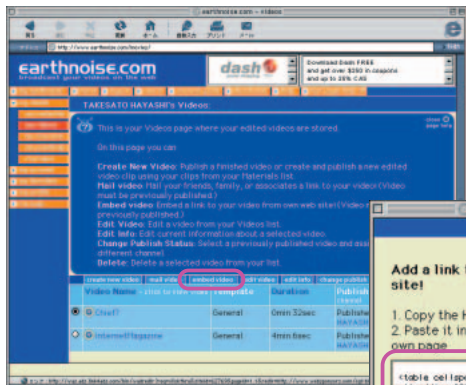


3 メールを送られた相手にはこのようなメッセージが届く。



4 URLを開くと、ビデオのサムネイル画像が表示されているページが開く。再生ボタンをクリックするとリアルプレイヤーが起動してビデオがストリーミング再生される。

# ホームページにリンクを張ろう!



1 「my studio」「my videos」へアクセスし、メッセージとして送りたいビデオの左横にチェックを入れてから「embed video」をクリック。

2 ホームページに貼り付けるためのHTMLソースがボックスの中に表示されるので、すべて選択してコピーする。



3 コピーしたHTMLソースを自分のホームページのHTMLに追加する。

4 追加したページをブラウザで開いてみると、ビデオ用のサムネイルが表示される。「Play」をクリックすると直接earthnoise.comのチャンネルページへ移動する。



## 公開時のフレーム

earthnoise.comのロゴとブルーの枠が表示される。枠の色やビデオのタイトルなどは「my videos」へアクセスして、ビデオの左横にチェックを入れてから「edit video」をクリックして変更しよう。

公開例 その3

# チャンネルを開設して自作の番組を発信する!



©2000 Hiroshi Konishi

ビデオの公開モードを「Public」に設定して自分の「チャンネル」を作るともっと多くの人が見てくれる。このモードで自慢のビデオや3DCG作品を公開してはどうだろう。今回は3Dアーティストの小西宏志氏の協力で、氏の作品「ROTANIMRET」を素材として、実際にearthnoise.comで公開してみた。



1 素材となる3DCGは「Maya」で制作されているので、「Adobe Premiere」を使って書き出し用のムービーをオーサリングし、新たにファイル名をつけて書き出す。

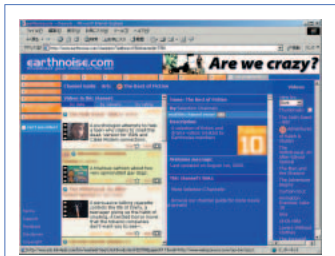


2 AVIファイルとして書き出されたビデオ。このときの形式は無圧縮（192 x 144、30fps、44.1KHz、16ビットステレオ）とした。



### ウィンドウズ版 Earthcast

ウィンドウズ版にはマック版にはない機能としてビデオキャプチャー機能（残念ながらDVには未対応で、アナログ取り込みのみ対応）が搭載されている。

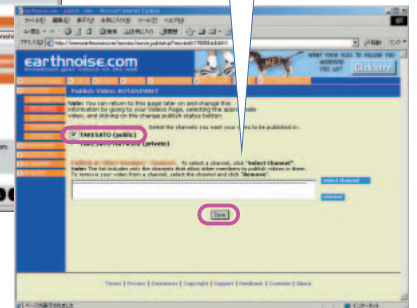


### Publicモードにする

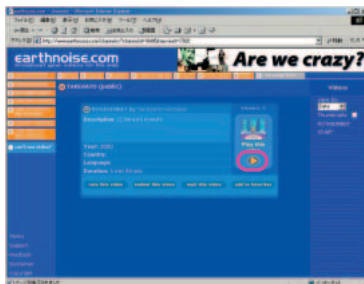
「Private」モードではURLを知っている人しかビデオを見られないので、ホームページのリンクやメールのような方法でみんなにアクセスを促す必要がある（236ページ参照）。一方、「Public」モードではearthnoise.comの登録ユーザー名と同名のチャンネル（変更もできる）内にある1つの番組として公開される。earthnoise.comではユーザーがPublicモードで公開している番組をチャンネルや番組内容ごとに分類するディレクトリサービスも行っている。番組名などをキーにビデオが検索できるようになるほか、視聴者による投票によって人気のある番組はランキングに表示される。



3 Earthcastを起動し、変換するファイルとして1で作成したAVIファイルを選ぶ。ビデオの圧縮設定を終えたとRealVideoへの変換とアップロードが行われる。



4 アップロードのあとにビデオのモードを「Public」に設定し、「Save」をクリックすると自分の登録名と同名のチャンネルができ、そのなかの番組としてPublish（新規公開）される。



5 Publicで公開されているビデオの詳細を確認する。「edit this video」をクリックするとクレジットなどearthnoise.comのビデオディレクトリサービスで公開したい情報を付け加えられる。

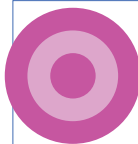


### RealVideo変換ソフト「RealProducer」

Earthcastはリアルネットワークス社のエンコーディング（変換）ソフト「RealProducer」の機能を一部使用している。より細かい設定や本格的なライブ中継をしたい人はこちらを試してみよう。無償版のBasicと高機能版のPlus（有料版）が用意されているので、必要に応じて選ぼう。

RealProducer Basic 8  
CD-ROM収録先：Win Realprod【Win】、Mac RealProducer【Mac】

6 公開した作品を再生。この作品を実際に見たい人はぜひ下記のURLにアクセスしてみよう。  
[www.earthnoise.com/channels/?channelid=3o224](http://www.earthnoise.com/channels/?channelid=3o224)

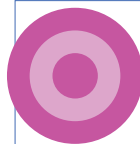


## earthnoise.comの 有料版メンバーになる

50Mバイトのディスクスペースをタダで使えるearthnoise.comだが、たくさんのビデオを公開したくて容量が足りないという人には、年間49ドル99セントの有料サービスも用意されている。会員には200Mバイトのディスクスペースとメールアドレスのほか、視聴者数やユニークビジターの数进行分析のサービスが提供される。

[www.earthnoise.com/register/](http://www.earthnoise.com/register/)

	free membership	Premium membership
料金	無料	有償 (月額4.99ドル、 年額49.99ドル)
ディスク容量	50Mバイト	200Mバイト
ツール	Earthcast	Earthcast
フォーマット変換	なし	年6本までのビデオテープ変換サービス
メールアドレス	なし	メールアドレス(10MBのメールボックス)
アクセスログ	なし	ビデオの視聴者分析
サポート	なし	あり



## プロバイダーなどの ストリーミング サービスを使う

国内でもいくつかのプロバイダーがRealVideoを用いたストリーミング配信サービスを提供している。オンデマンドだけでなく、ライブ中継のサポートを行っている会社もあるので、すでにプロバイダーに加入している人はこうしたサービスの利用を検討してみてもいいだろう。



@nifty

[homepage.nifty.com/channel/](http://homepage.nifty.com/channel/)

自分でRealProducerを使って変換したり、メタファイルを記述したりする必要があるものの、ヘルプが基本的な内容をおさえていてわかりやすい。



## Panasonic Hi-HO

[home.hi-ho.ne.jp](http://home.hi-ho.ne.jp)

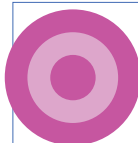
「インターネット放送局」サービスは初期費用1万円および1チャンネル開設につき月額1万円。専用のレンタルチャンネルサーバーにビデオを転送して公開できる。



## IJ-MC

[www.ijj-mc.co.jp](http://www.ijj-mc.co.jp)

初期費用5万円、月額12万円で100Mバイトの容量と10ライセンスの同時接続、さらにCD-ROMやMOなどからコンテンツの設置を代行してくれるなどサービスは本格的。別途ライブ中継サービスもある。

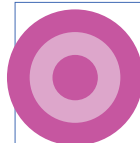


## 本格的 ストリーミング放送 “Mega-Channel”

CATV、ADSL、無線インターネットなどによるブロードバンド(広帯域)になると、56kbpsモデムによるダイヤルアップ接続では体験することができなかった高品質なコンテンツを楽しめるようになった。「Mega-Channel」では他社に先駆けて1Mbpsのストリーミング番組を配信している。earthnoise.comでネットムービーに慣れたら、コンテンツプロバイダーによる本格的なエンターテインメントを体験してみるのもいいだろう。



[mega-channel.com](http://mega-channel.com)



## “WebPocket”で ビデオをデジタル保管

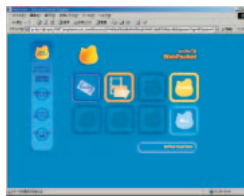
「WebPocket」はインターネットで動画や静止画をはじめとするさまざまなデータを保管するサービスだ。登録したデータはインターネットにつながるPCがあればどこからでもアクセスできるうえに、保管できるデータの種類を問わないので、会社と家などで共用のデータを保存するのに使える。WebPocketの月額料金は1Gバイトまでが500円、5Gバイトまでが750円、15Gバイトまでが1,000円となっている。なお50Mバイトまでのディスクスペースを6か月間利用できる無料のおためし会員制度もある。

DVやVHSなどのテープデバイスからWindowsMedia、RealVideo、Quick



[www.webpocket.net](http://www.webpocket.net)

Timeのいずれかに変換してアップロードしたり、別のテープにコピーしたりする「フォーマット変換」のサービスも11月1日から始まる。株式会社ウェブポケットはソニーの100パーセント子会社で、カセットやビデオテープなどテープメディアの分野で伝統のあるソニーが後ろ盾であるというのが心強い。



ログインすると会員専用の画面が表示される。



ブラウザからは同時に10件までファイルをアップロードできる。




登録されたビデオはシーンごとにサムネイルで表示される。

“パーソナルキャスティング”を実現する

# バイオGTで夢のネット中継!

9月に開催されたVAIO Expo 2000でほんの少しだけ姿を見せた「バイオGT」がいよいよ11月18日に発売される。DVカメラのような光学10倍ズーム（デジタル40倍）レンズを備えたバイオGTのキーワードは“パーソナルキャスティング”。撮ることにこだわり、手ぶれ補正やステレオマイク、68万画素CCDにAV出力端子、極め付きは三脚対応と、モバイルPCというよりも「PCの付いたビデオカメラ」と感じさせる機能が満載だ。CPUにはCrusoe TM5600（600MHz）を採用し、バッテリーの消費量も少ない。オプションのバッテリーを使えば最大で17時間の動画撮影が可能になる。


バイオGTに搭載される専用ソフト「URec Sight」（ユーレックサイト）は“手軽さ”と“使いやすさ”をコンセプトに、ジョグダイヤルと専用ボタンを使って簡単に撮影できるようになっている。ビデオ撮影や静止画の撮影はもちろんのこと、ハードウェアの発売と同時に

にサービスが始まる「パーキャストTV」（ [www.percastv.net](http://www.percastv.net)）を使ってライブ中継までできてしまう。今までライブ中継を行うにはさまざまな設定やストリーミング配信の知識が必要だったが、バイオGTとパーキャストTVを使えばブラウザのみですべての準備ができるのだ。ソニーではさらに、バイオGTとパーキャストTVで実現したパ

ーソナルキャスティングのサービスを「CastaDrive」というオープンプラットフォームとして他社へもライセンスすることを検討している。これからは個人でもノートパソコンとインターネットを使って手軽にビデオを配信できるようになっていく“パーソナルキャスティング”の実現によって、情報発信の形態もさらに豊かになってゆくだろう。

液晶画面を回転させて通常の「PCスタイル」と「カメラシューティングスタイル」を切り替える。

## PCG-GT1

発売元：ソニーマーケティング㈱  
価格：オープンプライス  
問い合わせ先：03-5454-0700  
（VAIOカタログセンター）  
 [www.vaio.sony.co.jp](http://www.vaio.sony.co.jp)

映像の記録フォーマット  
Motion JPEG で記録  
640 × 480（15fps）  
320 × 240（30fps）  
MovieShakerを使えばDV、MPEG1、QuickTimeに対応  
ライブ配信はRealVideo形式でリアルタイムエンコーディング

「パーキャストTV」は新聞のテレビ欄のような形式で表示される。表示の時間にしか受信できないが、インターネットを使って多くの人と時間を共有することを楽しもう。



URecSightから「パーキャストTV」に接続。20あるチャンネル（個人向けはそのうち15チャンネル）から会議室の予約を入れるような感覚で予約状況を見て、空いた時間に予約を入れる



URecSightのCastaDriveモードでライブ配信中。中継映像にリアルタイムでVJソフトのようにしてエフェクトを追加できる（同時に2つまで）。



時間になったら「パーキャストTV」にアクセスしてチャンネルから見たい番組名をクリックすると、リアルプレイヤーでライブ中継を視聴できる。





## [インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

**株式会社インプレスR&D**

All-in-One INTERNET magazine 編集部

[im-info@impress.co.jp](mailto:im-info@impress.co.jp)